

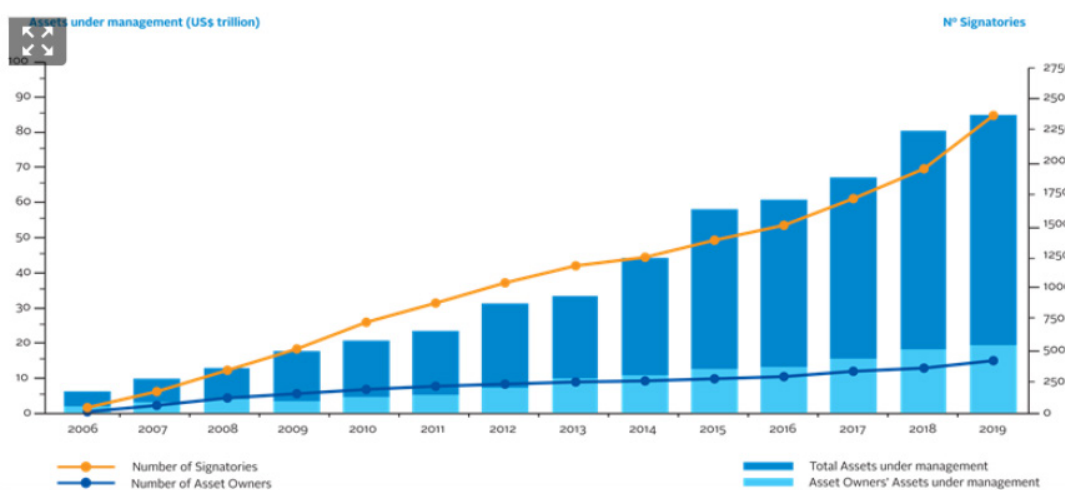
PRI 年次総会(PRI in Person)が東京にやってくる！

公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構
特任研究員 玉置 真郁

2020 年はいよいよオリンピック・パラリンピックが東京で行われる。2019 年はラグビー・ワールドカップも初めて日本で開催され、日本代表が世界のベスト 8 に食い込む躍進をみせ大変盛り上がったので、オリパラの 56 年ぶりの東京開催も大変楽しみである。しかし、オリパラが終了した秋、10 月 6 日から 8 日の 3 日間、東京で PRI の年次総会が行われることを皆さんはご存じだろうか。

PRI とは、Principles for Responsible Investment の略で和訳は責任投資原則。2005 年に当時の国連のアナン事務総長が公表し、2006 年の 4 月に正式に制定された。以来署名機関数（シグネトリー数）は 2,735 に至っている(2019 年 11 月現在)。 PRI 自体は Non-Profit Organization(NPO)の投資家によるイニシャティブで、国連によってサポートされてはいるものの国連の一部ではなく、いずれの政府機関にも属さない独立機関である。

PRI 署名機関数の伸び率



出所：PRI HP より

PRI は年に一度、おおがかりな年次総会 (PRI in Person) を開いており、オリンピックのように開催地は世界中を転々としている。2017 年はベルリン、2018 年はサン・フランシスコ、2019 年はパリ、そして、2020 年は東京で初めて開催される運びになった。2018 年のサン・フランシスコ大会では、1,200 名が参加し、2019 年のパリでは、なんと世界 54 개국から計 838 社、約 1700 名が参加したそうだ。PRI in Person で議論されるトピックには、その後のグローバル運用業界が関心を寄せるカギとなる話題（例えば、サン・フランシスコ大会ではアルゴア元副大統領が登壇し、気候変動への早急な対応を訴える熱弁をふるったが、その翌

年の 2019 年には TCFD への署名機関数が急増したなど) が含まれることが多く、年々注目度が高まっていることに留意されたい。

2019 年 9 月のパリ大会のテーマは「Urgent Transition 今すぐ行動を！」だった。その後 9 月末に NY で行われたクライメート・ウィークでスウェーデンからヨットで駆けつけたグレタ・トゥーンベリが涙を流しながら演説を行い、パリ協定からの離脱を表明しているトランプ大統領を睨みつけたのは記憶に新しいが、PRI のパリ大会でも、まずこの気候変動の危機から地球を守ることが先決というトーンで様々な議論が交わされた。パリ大会での主なアジェンダは、以下の通り。

- 各国・地域の政策関連 (EU タクソノミーなど)
- 低炭素社会の実現へ、TCFD の実用
- サイバー・セキュリティ
- ダイバーシティと投資家の評価
- SDG s 項目の投資への組み込み
- ESG とパッシブ運用
- AI と ESG
- オルタナティブ投資と ESG
- コンサルと ESG
- 人口増加と食糧問題
- プラスティック環境問題
- エンゲージメントの重要性
- エマージング国債と ESG、クレジット債と ESG
- インパクト投資
- 人権問題 (現代奴隷制度問題) 等

東京大会では、どんなトピックが選出されるのかは現時点では未定だが、可能ならば日本らしさを出せたらよいのではと思っている。100 年以上存続している企業が世界でも最も多いといわれる日本なりのサステナビリティ (例えば、三方よし) の考え方や災害大国である日本としてのユニークな取り組み対策の実例の数々、過去の環境汚染の教訓から生まれたエコロジー新技術、環境 3R+Respect を体現しているといわれる「もったいない精神」、今の Vegan に通ずる古くからの大豆食糧文化など、世界に誇れる取り組みや新技術そして ESG 思想は豊富にあるはずだ。東京大会は国内からの参加者も含めて約 1,000 名以上が一堂に会する大変大きな国際会議となるため、オリパラ同様にホスト国として、恥ずかしくない運営を願っている。加えて、日本のアセット・オーナーの署名機関数はまだ 20 社余りと多くないため、是非ともこれを機会に企業価値向上のために日本のアセット・オーナーも PRI への署名を検討されてみてはどうだろうか。